



ハイライトよねやま 171

1 寄付金速報 — 今年度最後のご支援をお願いします！ —

5月までの寄付金は前年同期と比べ1.5%増、約1,800万円の増加です。普通寄付金が0.1%増、特別寄付金が2.2%増となりました。5月単月では前年度に比べ4カ月ぶりのマイナスとなりましたが、累計額では今月もこの5年間で最高額を維持しています。

寄付実績は、普通寄付金・特別寄付金ともに、6月30日(月)までに当会の銀行口座に入金され、記帳された分までが今年度の寄付実績となります。ご送金の際には、日程に余裕を持ってお送りくださいますよう、今年度最後のご協力をよろしくお願い申し上げます。

2 理事会開催報告 — 来年4月採用数は720人 —

第7回理事会が6月10日、都内で開催されました。全国から30人の理事と監事2人が出席し、議長は板橋敏雄理事長が務めました。

主な議題として、2014年度事業計画および収支予算が承認されたほか、2015学年度の奨学生採用数と募集要項も原案通り承認されました。堅調な寄付実績を受け、2015年4月採用の奨学生数は、全34地区への感謝の意味と公益法人としての「収支相償」の観点から、前年度から20人(枠)増の720人(枠)となります。また、8月の理事改選のために設けられる役員候補者指名委員会の委員が選任されました。



3 現役奨学生が外務大臣賞！ — 第2690地区 —



「第55回 外国人による日本語弁論大会」(主催：国際交流基金、国際教育振興会、松江市)が5月24日、島根県松江市で開催され、島根大学生物資源学部^{カギョウオン}に在籍する現役米山奨学生、何曉恩さん(中国/松江RC)が最優秀の外務大臣賞を受賞しました。

今大会では、97人の応募者の中から予選を勝ち抜いた12人が出場。何さんは「育爺時代の幕開け」をテーマに、自身が祖父母に育てられた経験とその功罪について発表しました。

大会の様子は7月12日(土)15時~16時 NHK Eテレで放送予定です(変更の場合もあり)。ぜひご覧ください。

授賞は夢のようです。人と人との絆が強い松江で、充実した留学生活を送っています。ロータリアンの方々、大学の教職員や先輩、そして何より祖父母に感謝したいです。現在は微生物を専門に研究しています。将来は、自分の専門や職業を通して日本社会に貢献できるようになりたいです。



4 学友が盲学校の生徒たちと交流 — 第 2530 地区 —

視覚障がいのある米山学友、モハマド・オマル・アブディンさん（スーダン／2005-08／東京国立うめRC）が5月16日に福島県立盲学校を訪れ、生徒と教職員へ向けて、自身の留学経験や夢に向かってチャレンジする大切さを語りました。また、同地区次年度米山奨学委員長の加藤義朋氏から寄贈されたブラインドサッカー用のボールを使ってパスやシュートを指導し、全員でサッカーを楽しみました。同盲学校の教員・鈴木美恵子氏（福島グローバルRC）は、「障がい者でありながら海外留学を果たしたアブディンさんの話を生徒たちが熱心に聞き、サッカーを楽しむ様子を見ることができて本当に嬉しい」と、語りました。生徒たちも、「外国の視覚障がい者と話すのは初めて。緊張したが、今後もっとたくさんの外国の方と交流してみたい」「私もいつかアブディンさんのように留学してみたい」と、感想を寄せてくれました。



アブディンさんは翌17日の地区協議会でも、得意のダジャレを交えながら、母国の視覚障がい者の教育支援にかける熱い思いを語りました。この日はまた、当会の事業紹介ビデオ『すばらしい贈り物』に登場した^{ボクゴウカ}朴香花さん（2008-10／三春RC）も郡山から駆けつけました。奨学期間を終えて4年が過ぎましたが、世話クラブとの交流は「思い出ではなく、現在進行形」と、嬉しい報告をしてくれました。

5 帰国学友の歓迎会を開催 — 韓国米山学友会 —

韓国に帰国した米山学友の歓迎会・懇親会（主催：韓国米山学友会）が5月31日、ソウル市^{ジョンピョングデ}内で開催され、23人が出席しました。参加者一人ひとりの自己紹介、^{ジョンピョングデ}全炳台会長のあいさつと学友会活動紹介のほか、11月15日開催予定の年次総会が案内されました。



今年3月に和歌山大学大学院を卒業して帰国し、初めて参加した^{シンユンテョル}申潤澈さん（2013-14／有田南RC）は、「とても楽しい時間でした。皆さんも帰国したらぜひ参加して」と、呼び掛けました。

6 足利市国際交流協会で学友が記念講演

5月17日、足利市国際交流協会（栃木県）の定期総会・講演会が開かれ、米山学友の^{シュウエンカ}鄒艶華さん（中国／2002-04／西那須野RC）が記念講演を行いました。鄒さんは現在、宇都宮大学大学院工学研究科の准教授で、磁気を利用した超精密加工技術の開発・研究をしています。また、第2550地区米山学友会会長として、学友のネットワーク強化にも尽力しています。

「あつという間に15年が経ちました。多くの優しさに助けられ、成長することができました。日本は私の第二の故郷です」と話す鄒さんに、会場から感動の拍手が送られました。



研究成果を披露する鄒さん(右)